

**一般共同研究** (研究期間:平成27年4月1日-平成28年3月31日)

(所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究)

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
1	2015-G-01	小野 重明	海洋研究開発機構 海洋掘削化学研究 開発センター	三部 賢治	沈み込むスラブ中の出現する炭酸塩鉱物の電気伝導度の測定
2	2015-G-02	石橋 秀巳	静岡大学大学院理 学研究科	安田 敦	富士山新規噴出物の鉱物化学分析に基づ くマグマプロセスの検討(その2)
3	2015-G-03	穀山 渉	産業技術総合研究 所計測標準研究部 門	新谷 昌人	広帯域地震計の感度の振動加速度一次標 準による校正
4	2015-G-04	渡邊 力夫	東京都市大学工学 部	新谷 昌人	人口衛星搭載型多成分微小加速度計によ る高層大気密度分布モデル確立に関する 研究
5	2015-G-05	寺田 暁彦	東京工業大学火山 流体研究センター	及川 純	熱水系卓越火山の火口浅部で発生する微 小地震の精密震源決定
6	2015-G-06	嶋野 岳人	常葉大学大学院環 境防災研究科	安田 敦	噴火推移モニタリングのための日別連続 降灰試料解析法の迅速化
7	2015-G-07	深尾 良夫	海洋研究開発機構 地震津波海域研究 開発センター	塩原 肇 篠原 尚 西田 究	海洋/固体地球システム現象解明のため の高感度絶対水圧計海底アレー観測
8	2015-G-08	松島 健	九州大学大学院理 学研究院	及川 純	膨張期に入った三宅島火山のマグマ溜ま りを測地的に検出する研究
9	2015-G-09	高橋 嘉夫	東京大学大学院理 学系研究科	中井 俊一	炭酸塩中のウラン-トリウム同位体比によ る地層中の過去の酸化還元状態の推移
10	2015-G-10	神田 径	東京工業大学火山 流体研究センター	小山 崇夫	地下構造調査による草津白根火山の熱水 系モデルの検証
11	2015-G-11	石原 靖	海洋研究開発機構 地震津波海域研究 開発センター	竹内 希	南鳥島における広帯域地震観測:準定常 観測に向けた伊豆・小笠原海域の地震の 検出と解析の安定性の評価
12	2015-G-12	大園 真子	山形大学理学部	加藤 照之	山形盆地断層帯周辺の地殻変動 - 詳細な 余効変動観測と変形過程の把握 -
13	2015-G-13	山口 覚	大阪市立大学大学 院理学研究科	上嶋 誠	同一断層系で活動性が異なる断層セグメ ント間の電気比抵抗構造の違いに関する 研究

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題
14	2015-G-14	橋本 明弘	気象庁気象研究所 予報研究部	鈴木 雄治 郎	気象予測モデルと3次元噴煙ダイナミクスモデルの統合による適用性の優れた火山灰分布予測モデルの開発
15	2015-G-15	後藤 章夫	東北大学東北アジア 研究センター	平賀 岳彦	溶岩流試料の室内実験による粘性係数測定と、野外観測値との比較に基づく、溶岩流流動機構の解明 - その3：組織変化に着目して -
16	2015-G-16	金子 克哉	京都大学大学院人間・ 環境学研究科	小屋口 剛 博	阿蘇カルデラ下のマグマ供給系の進化と大規模カルデラ噴火準備過程のモデル構築
17	2015-G-17	長谷中 利 昭	熊本大学大学院自然科学 研究科	安田 敦	阿蘇-4火砕噴火及び前駆噴火噴出物に含まれる鉱物中のメルト包有物の研究
18	2015-G-18	金嶋 聡	九州大学大学院理学 研究院	川勝 均	火口直下の浅部火道における水蒸気爆発の準備過程の観測的研究
19	2015-G-19	小園 誠史	東北大学大学院理学 研究科	鈴木 雄治 郎	霧島山新燃岳2011年噴火における火道流のダイナミクスに関する数値的研究
20	2015-G-20	中東 和夫	神戸大学大学院理学 研究科	山田 知朗	海底での地震・磁力同時観測手法の確立
21	2015-G-21	原田 靖	東海大学海洋学部	加藤 照之	稠密GPS観測に基づく東海地方下の歪場とプレート境界のすべり分布の解明
22	2015-G-22	中西 一郎	京都大学大学院理学 研究科	吉田 真吾	石本文庫の翻刻